

市には、一般会計、7つの特別会計、水道事業会計の3つの『お財布（会計）』があります。



保険料や使用料など、特定の目的のために集められた収入（保険料や使用料）で、特定の事業（国民健康保険や公共下水道事業など）を行う会計です。

本年度は、平成23年度に比べ4.1%の増となりました。



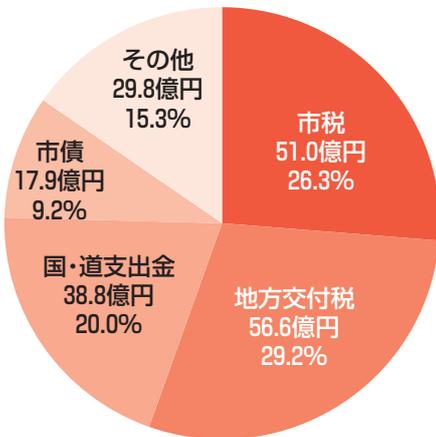
一般会計は、市税や国からの地方交付税などの収入で福祉や教育の充実、中小企業の振興などさまざまな事業を行う会計です。

本年度は『子ども手当』が大きく減額したことなどで、平成23年度に比べて1.8%の減となりました。

平成24年度
登別市の

予算

歳入



用語解説

市税 市民税や固定資産税など市が頂くお金
地方交付税 人口や税収に応じて国から交付されるお金
国・道支出金 特定の事業に対し、国や道から交付されるお金
市債：市の借金
その他の収入 施設の使用料や各種サービスの手数料など

歳入のポイント

市税 長引く景気低迷の影響などから、平成23年度比 1 億6,653万円の減
地方交付税 国の予算の状況などから、平成23年度比 1 億4,121万円の増
国・道支出金 子ども手当の減額に伴い、国や道からの交付金が減額となることなどから、平成23年度比 3 億8,728万円の減
市債 市営住宅の建て替えや退職金支払いのための借り入れが増えたことなどから、平成23年度比 2 億5,020万円の増
その他の収入 使用料や手数料などのほか、収入不足を補うため、**基金等**（貯金）から取り崩す 5 億5,000万円が含まれています

一般会計



登別市の一番大きなお財布

登別市で一番大きなお財布『一般会計』。その中身を見てみましょう。

平成24年度の市の予算は、3月に行われた市議会第1回定例会で議決され、成立しました。今号では、平成24年度予算についてお知らせします。